

第 7 0 回小金井市市民参加推進会議

日 時 令和 6 年 9 月 1 2 日（木）午後 6 時 3 0 分～午後 7 時 0 5 分

場 所 小金井市役所第二庁舎 8 階 8 0 1 会議室

出席委員 1 0 人

委員長 繁 田 進 委員

副委員長 金 尾 悠 香 委員

委 員 岡 田 一 美 委員 鴨 下 明 子 委員

山野井 礼 奈 委員 中 村 真 子 委員

中 村 彰 宏 委員 南 貴 之 委員

北 村 高 委員 水 落 俊 也 委員

欠席委員 2 人

須 藤 夏 生 委員 橋 田 壤 志 委員

事務局職員

企画政策課長 富 田 絵 実

企画政策課係長 中 島 広 樹

企画政策課主事 樗 木 紗 矢

企画政策課主事 金 信 沙 樹

傍 聴 者 0 人

（午後 6 時 3 0 分開会）

◎**繁田委員長** それでは、第 7 0 回の市民参加推進会議を始めさせていただきます。

なお、本日、橋田委員からの欠席の連絡をいただいております。定足数に関しましては、市民参加条例施行規則第 2 4 条に、半数をもって成立することになってございます。本日、1 2 名中 8 名の御出席をいただいておりますので、本推進会議は成立しているということで御報告申し上げます。

それでは、配付資料について、事務局のほうで確認をお願いします。

◎**事務局** 今回の資料について、順に確認をさせていただきます。

まず、本日の次第が 1 枚ございます。

続いて、資料 1、令和 6 年度市民参加条例対象附属機関等設置状況（令和 6 年 4 月 1 日現在）、A 3・1 枚のものとなっております。

続いて、資料 2、令和 5 年度市民参加状況調査、こちらは A 4 用紙 1 枚のものでございます。

資料3、第9期小金井市市民参加推進会議提言（案）、A4・3枚のホチキス留めのものとなっています。

それから資料4として、第9期市民参加推進会議工程表、A4・1枚、横向きのものの合計5点でございます。不足などございましたら、お知らせください。

また、皆様にお願いがございます。会議の進行に際しまして、会議録を作成する都合上、御発言の前にお名前をおっしゃっていただきますように御協力のほどお願いいたします。

◎**繁田委員長** それでは、次第1「市民参加条例運用状況等について」を議題といたします。事務局からの説明をお願いします。

◎**事務局** それでは、資料1「令和6年度市民参加条例対象附属機関等設置状況（令和6年4月1日現在）」を御覧ください。こちらは、令和6年4月1日現在の附属機関等の状況をまとめたものです。市民参加条例の運用状況の確認をするため、現状を委員の皆様へ御報告するものです。

附属機関等の総数は、休会中の会議体も含め、92機関ございます。令和6年4月1日現在、委員となっている方の総数は1,020人、そのうち男性が651人、女性が369人であり、男性が約64%、女性が約36%となっており、男性の方が多くなっている状況でございます。

また、公募委員につきましては、条例上の決まりが委員のうち30%以上置くことになっておりますが、専門的な会議など、公募委員を元々置かない附属機関もあり、それらを除いた附属機関を分母とした実績は約28%となっております。

引き続き、条例趣旨を満たすよう、周知を図ってまいります。

続きまして、資料2「令和5年度市民参加状況調査」を御覧ください。

令和5年度に実施した市民参加状況について、御報告させていただきます。

1番、「パブリックコメントについて」です。令和5年度に実施したパブリックコメントは4件でした。ちなみに令和4年度は3件となっております。

2番、「意向調査・アンケートについて」です。意向調査とは、市民参加条例第14条第1項の規定によるもので、市民に対して実施するアンケート調査のことです。昨年度に実施されたものが、こちらの4件となっております。

3番、ワークショップ等についてです。昨年度実施したワークショップ等のイベントはこちらの4件となっております。このうち1件が委員の皆様にも御参加いただいた若者MIRAIトークでございます。

4番、市民説明会についてです。昨年実施した市民説明会は、こちらの4件となっております。

5、その他については、通年で実施している市民の声、図書館利用者の声と、その他2件、合計4件ございました。

引き続き、市民参加及び議論のしやすい環境づくりに努めてまいります。説明は以上です。

◎**繁田委員長** ありがとうございます。事務局の説明が終わりました。

それでは、今の説明につきまして、御意見、御質問等がございましたらお願いをいたします。
よろしいでしょうか。

それでは、以上で、次第１「市民参加条例運用状況等について」を終了いたします。

◎**繁田委員長** 次に、次第２「今期の提言に向けて」を議題といたします。第９期市民参加推進会議は、今回を含めて残り２回となります。本日の会議では、提言案の内容について確認をいたします。

事務局からの説明をお願いします。

◎**事務局** 前回の会議から時間が少々たっておりますので、おさらいも兼ねて簡単に説明をさせていただいた後、金尾副委員長に補足をしていただきたいと思います。

資料４を御覧ください。委員長からも御説明いただきましたように、今回を含めて残り２回となります。本日の会議では、この後、提言書の確認をいたします。最終調整の後、１０月に市長への提言受渡しの機会を設けることを予定しております。

それでは、資料３の第９期小金井市市民参加推進会議提言（案）を御覧ください。

前回の骨子案とこれまで委員の皆様からいただいた御意見などを基に、金尾先生に御作成いただきました。

まず、１ はじめにという項目につきましては、市民参加を進める意義などを記載してございます。

２ これまでの経緯という項目につきましては、小金井市の市民参加状況、若者討議会を取り上げている経緯などについて記載してございます。

３ 若者討議会の実施に向けてという項目では、これまでに出了委員の意見を記載しているところです。

４ 若者討議会の実施概要という項目は、協議会の目的や概要を記載しております。

５ 事前アンケート・事後アンケートの項目では、アンケートの検証結果やそこから分かった課題などを記載してございます。

６ 提言の部分は、検証結果やこれまで委員の皆様からいただきました御意見などを記載しております。

７ おわりにという項目については、提言の結論となる部分でございます。本日の会議で皆様からいただいた御意見などを基に、正副委員長にて最終調整をいただいた上で、最終案は皆様にメールで御確認いただき、確定とさせていただきたいと考えております。

恐れ入りますが、金尾先生から概要について補足の御説明をお願いできればと思います。

◎**金尾副委員長** 企画政策課長からの説明に付加しまして、多少の補足をさせていただきたいと思います。

資料４を御覧ください。基本的には、この時系列に沿って報告するような形になっていると

御理解いただければと思います。

1 ページ目、1 はじめにの部分については、市民参加を推進する社会背景と市民参加の目的を記載しています。一般的に1段落目から3段落目まで書きまして、4段落目、真ん中のあたりに、今期の第9期市民参加推進会議について、若者等サイレント層の市政への興味・関心を惹起し、継続的な市民参加の方策を検討したということと、あと「若者討議会」の実施運営をしたということを記載しているという形です。

次に、背景等やこれまでの市民参加推進会議と、第9期市民参加推進会議との関係について記載しております。

1 ページ目、最後の行について、市民参加の現状として、参加者の年代の偏りや参加者の固定化が問題になっているということを指摘した上で、2 ページ目に入っていただきまして、第5期市民参加推進会議で「若者の市民参加」に焦点をあてていた経過がございます。それを受けて、前回の第8期市民参加推進会議では、若者に限らずサイレント層にフォーカスしてきたという経緯を書いた後、2 ページ目上から2段落目、今期ではこれを若者フィーチャーとサイレント層フィーチャーを融合させた総合的な議論として、若者等サイレント層の市民の市政への関心を高めたいという趣旨を記載しているところであります。

2 ページ目、「若者討議会の実施に向けて」については、具体的に言えば、今期の第1回目、第2回目の会議の内容について整理した部分であります。若者討議会の実施に当たり、どういったことを留意していくとよいか、具体的には、雰囲気づくりや議論の対象は自発的に設定していただきたい、興味関心のあることを当事者意識から設定していただきたいというような内容について記載しております。

それから3 ページ目に入りまして、意見集約や広報の仕方といったところを工夫したいというような議論があり、若者討議会の開催に入ったという経緯を書いている部分が2 ページ目、3 ページ目になります。

3 ページ目、4 の若者討議会の実施概要、4 ページ目、事前アンケート・事後アンケートの分析と検証結果、それから5 ページ目にかけて実際の若者討議会の内容、そしてその分析結果について、第4回に受託事業者から御報告いただいた内容をコンパクトにまとめたところであります。

実施概要の部分について、若者討議会は若者の年齢を特定して実施していたと思うのですが、けれども、それを特定し忘れたなというところが読んでいて気付いたところではありますが、どこかに付記させていただきたいなと思います。若者討議会の実施概要については、御一読いただきたく思います。

目的、広報、それから募集申込みの方法、インセンティブ、それから話しやすい雰囲気づくりなど、皆様からいただいた留意点について反映した形で実施したということが分かるようになっております。

4 ページ目に入りまして、アンケートの分析と検証結果について記載しています。こちらも

各項目御覧いただければと思います。

(1)、(2) というふうにはいろいろな項目がありますが、最後の数行に各項目、どういったことが言えるかという分析になっております。例えば、5 ページの(2) 市政に対する興味の変化、上から1、2、3 行目のあたり、実施によって参加者の興味度の増大に寄与したということや、(3) の市政に対する意識の変化も、なお書きのところ、取組自体が市民参加の裾野を広げるきっかけづくりとして有用というようなことを記載しております。

これを受けまして、前回の会議の中で、A チームとB チームに分かれて、皆様に御意見を頂戴したところを付記したのが6 ページ以下の提言になるところでございます。

大きく分けて、(1) の情報発信、それから広報の精査、それから(2) の市民参加の裾野を広げるためにはどういったことをしたらいいのかというようなことを書いてございます。情報発信というのは、その時々によって多様なチャネルを活用してほしいということが書かれております。その場合によってというのが、(2) 以下に出てくるわけで、市民参加のシチュエーションによってチャネルを使い分けなければいけないというのは、皆様に御指摘いただいた部分でございます。

我々第9 期は、若者とサイレント層にフォーカスしておりますので、サイレント層の市民参加をどのように促していくかという点について、アンケートでも指摘されておりますとおり、最初の一步が難しいというところから始まっております。6 ページ目の下半分、サイレント層も全くゼロベースから1 に踏み出すところと、7 ページ目②です。一步踏み出した後にどうしていくか、段階別に検討をしたというところでございます。

6 ページ目に戻りまして、0 から1 に踏み出すときには初回への誘導ということですが、これも前回の議論でかなり皆様より御指摘を多数いただいたかと思うのですが、流れるような情報ではなく、固定されていつでも見られる、そして確認できるというようなツールが初回の認識に重要なのだというお話と、情報をキャッチした後は、ツール、ウェブとか手軽なSNS を通じた参加ツールが必要になってくると、固定的な伝統的なツールと情報認知後の手軽さというのを複合的にやってほしいというようなことが、「0 から1 へ」のところには書いてございます。

7 ページ目に入ります。最初の一步を踏み出せば、市民参加への意識が高まるということ、そしてその輪を広げていく段階ではやはり知り合いからの呼びかけや声掛けによって新たな市民参加につながるということがアンケート結果より分かっております。実際にそういう呼びかけで、市民参加推進会議に御参加いただいている委員の皆様もいらっしゃいますので、1 回市政に関わった経験者には、先導的な役割を担えるような働きかけを市政にしていきたいというようなことが書いてあるのが②でございます。

③は、これはもう昔から言われておりますけれども、当事者意識を持っていただくというようなことが書いてあって、8 ページ、「7 おわりに」で、いろいろな現代的なツールを活用しつつ、この6 の提言を生かしていただきたいというようなことを記載しております。

皆様からいただいている御意見をできる限り反映したつもりではあるのですが、取りこぼしなどあるかもしれないので、付記したい、これは要らないというような御意見あれば、御相談の上、ブラッシュアップできればと思いますので、御意見を賜れればと思います。私からは以上となります。

◎**繁田委員長** 丁寧な説明、ありがとうございました。

それでは、本日この提言案の最終確認をいたしまして、提言を固める運びとなります。提言案につきまして、何か御意見等がございましたら、お願いいたします。0から1、1から発展的拡大へと上手に書かれているなと思います。

私も若者MIRAIトークに参加させていただきましたが、提言の中でも言及のあるとおり、話しやすい雰囲気というのがポイントになるのでしょうか。若者に限らず、私たちもそうですけれども、何かあると、顔がほころびますよね。友達が友達を呼んでどんどん発展させていくというその最初のきっかけとしては、やはり人からの誘いとか、体験談とか、影響が大きいですよ。鴨下委員、いかがですか。

◎**鴨下委員** ここまでかけてきたものが大変分かりやすく、抜けや漏れがなく、まとめていただいております。本当にこれが基となって、市民参加が推進されていくサイクルとなっていくと良いなと改めて思いました。

◎**繁田委員長** そうですよ。ありがとうございます。南委員、いかがでしょうか。

◎**南委員** 私も同じ意見で、1回目から順序よくまとめていただいたものがここに全て記載されていて、本当にありがとうございます。幾つか欠席したこともあったのですが、これを見て、欠席した日のこともこれを見れば、分かりやすく記載されているので、すばらしい提言書になったのではないかと思います。

◎**繁田委員長** ありがとうございます。中村委員、どうですか。

◎**中村（真）委員** すごく分かりやすかったです。1つのテーマで市民参加をどうやって図るかということだけではなくて、全体的に市政を運営していく上で、サイレント層の方々に、どう市政に関わってってもらえばいいのかということ、その後、どう継続的につなげていくかということなど、全体的に網羅した提言になったのではないかと感じました。

◎**繁田委員長** ありがとうございます。岡田委員、いかがですか。

◎**岡田委員** 7期くらいから参加しております。今までの提言も良かったのですが、自分達がやってきたことがよくまとまっていて、よくこんなに分かりやすくまとめていただいたなと思っています。特に今回良かったのは、若者を対象とした若者MIRAIトークというワークショップを実際に実施できたというのが一番良かったと感じているので、その部分もしっかりまとめていただいておりますし、ありがとうございます。本当にすばらしいと思います。

◎**繁田委員長** ありがとうございます。

中村委員、皆さんに一言ずつ感想をいただいております。いかがでしょうか。

◎**中村（彰）委員** 非常によくまとめていただいたと感心することしきりであります。ありが

とうございます。

◎**繁田委員長** 山野井委員、いかがでしょうか。

◎**山野井委員** 大丈夫です。

◎**繁田委員長** 大丈夫ですね。他の方、よろしいですか。

◎**水落委員** 今回、提言という形にまとめていただいてありがとうございます。以前、事務局として参加していて、そのときから若者の市民参加というのはずっと課題になっていて、今回、若者M I R A I トークを開催して、ついに形になったと感慨深いところです。今回この中でも7ページのところで、「拡大と循環」というフレーズがありますが、そのあたりがとても良いなと思って読ませていただきました。本当にありがとうございました。

◎**北村委員** 改めて読ませていただいて、若者討議会の生き生きした様子とか、改めてよみがえってくるなと思っております。今後の可能性を大いに感じさせるようなすてきな提言をいただいて、ありがとうございます。

◎**繁田委員長** ありがとうございます。もうまとめに書かれていますけれども、地道にやっていくしかない、最後はそこですね。本当に少しずつ輪が広がって、そういう地道な活動が形に最後になってくれればと思っております。ありがとうございました。

本日いただく御意見や細かい体裁等を含めて、提言案の最終調整については、正副の委員長に一任とすることとさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

◎**繁田委員長** ありがとうございます。

それでは、本日の会議終了後の最終調整は、正副委員長でさせていただきます。

以上で、次第2「今期の提言に向けて」を終了いたします。

提言につきましては、正副委員長で最終調整の上、皆様にメールで御確認いただき、確定とさせていただきます。

◎**繁田委員長**

次に、次第3「次回推進会議の開催日について」です。事務局、説明をお願いします。

◎**事務局** 2点お知らせがございます。

まず、1点目です。10月に市長への提言の受渡しの機会を設けます。正副委員長の御都合と市長日程を調整させていただきまして、日程は10月29日の12時45分から、場所は小金井市役所の本庁舎2階の庁議室で行う予定でございます。

なお、大変恐縮でございますが、この日は審議ではございませんので、報酬をお支払いすることができません。正副委員長にはお越しいただくこととなっておりますので、他の委員の皆様には御無理にお越しいただく必要はございませんが、もし御都合がよろしければ、市長にお話しをいただく貴重な機会となりますので、御参加いただける委員の方は御同席をいただければと考えてございます。

出席の可否につきましては、改めてメールにて御案内をさせていただきますので、御無理のない範囲で御検討いただければと思います。

次回、第71回市民参加推進会議につきましては、提言書を受けての市長意見の交付を予定しております。会議の候補日につきましては、おおむね11月下旬と考えてございます。詳細な日程につきましては、こちらも改めてメールにて調整をさせていただきたいと思います。

最後のお知らせとなります。委員の皆様の任期が令和7年12月11日までとなっていることから、委員の改選につきまして、お知らせさせていただきます。

今期と同様に、公募委員の皆様は論文選考3名、無作為抽出2名を予定しており、現在の公募委員の皆様にも、改めて御応募いただければと考えてございます。公募の詳細につきましては、後日、市報等でお知らせをいたします。また、関係団体から御選出いただきました皆様には、団体のほうに改めまして御推薦のほうをお願いさせていただきますので、また、御協力いただける場合は、どうぞよろしく願いいたします。説明は以上となります。

◎**繁田委員長** それでは、次回の推進会議の日程につきましては、後日、事務局から連絡をいただくということで決まりました。

また、任期満了に伴う委員の改選につきましては、引き続き、御協力いただきたいとことです。それでは、本日の議事は全て終了いたしました。

以上で閉会いたします。ありがとうございました。

(午後7時05分閉会)